

～今月の花木～



ウスギモクセイ 薄金木犀

モクセイ科 常緑小高木 中国・インド原産

花色は黄白色でキンとギンモクセイの中間といった感じである。ギンモクセイの変種とされる。花の香りは強くない。実が出来て翌年の初夏に熟す。



逆光に輝く、ススキの草原（細野高原）

秋の代表的な草花であるススキは、ほぼ誰でも知っている古くから親しみのある植物です。

ススキの話

十五夜の月見の供え物や（今年の十五夜は9月24日）、秋の七草の一つ「雄花」でもあるススキは古くから秋の象徴として多くの人々に愛されてきました。「雄花」とはススキの花穂（かすい）が獣の尾に似ていることが語源とされています。

かつて日本の各地ではススキは人々の生活に深く根ざしていました。春から夏に刈ったススキは牛馬の飼料となり、冬になって刈ったススキは茅葺き屋根の材料にしました。なお、茅（カヤ）とは屋根ふきの材料などに用いられるススキやその仲間の別名です。

屋根ふきの材料として野山のあちこちに生えているカヤを集めるだけでは形は不揃いなうえ量的に集めるのも大変なため、先人たちは村の共有地などに茅場を作りました。茅場とはカヤ（ススキ）を育てるため人の手が入った草原です。

現在では茅葺き屋根の利用などカヤ（ススキ）を生活で利用する場面は減り、茅場とよばれるススキの草原も減りつつあります。この草原は何も繁茂し最終的には森林となるため、刈り取りや冬の終りに行う山焼きなど人の手によって維持されている草原です。山焼きした後は山菜などが芽吹き、春の恵みをもたらします。現在ではススキ草原の景観に価値を見出す人も増えていますが本来は生活のために作られた草原なのです。



細野高原

細野高原の山焼き

山焼きの火が周囲に広がらないようにするため、秋に草原の境界に沿って防火帯作りの小規模な山焼きを行います。全体的な山焼きは毎年2月頃に実施され、樹木や藪が茂るのを防いでいます。

山焼きが終わると焼野原になりますが、春になるとワビやゼンマイなどが芽生え、山菜狩りで賑わいます。

山菜狩りが終わったところから次第にススキが生長し、ススキの草原になっていきます。



ススキの草原を訪ねて

伊豆半島の東側、静岡県東伊豆町稲取の山側、標高400m付近から八二一mの三筋山の山頂付近まで「細野高原」という広大なススキの草原があります。関東近郊では箱根仙石原のススキ草原が有名ですが、その七倍の一二五haもある草原で海を背景に臨むススキが謳い文句の草原です。

駅でこの草原の観光チラシ「秋のすすきイベント」を見かけ、数年前の11月初旬に電車で訪れてみました。アクセスは伊豆急行の伊豆稲取駅からバスで細野高原バス停まで約30分、入山受付があり所定の料金を払うと細野高原に進むことができます。いわゆる絶景ポイントに辿り着くにはこの先山を登りますが、無料のシャトルタクシーがあり、三筋山山頂まで徒歩15分の場所まで希望すれば乗せてくれます。

多くの人がそうするよう三筋山の山頂まで登ってみました。



チラシにあった写真を真似してススキと海を絡めてみた

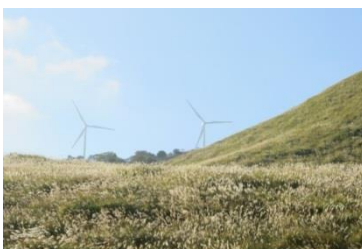


山頂以外はほぼ舗装路だが、長時間歩くのに適した靴で訪れた

そこは秋の陽を受け黄色に輝くススキの先に青い相模灘が広がる景色を想像していましたが、チラシにあった写真と謳い文句ほどのススキと海が絡む印象は感じませんでした。山頂からは伊豆諸島の島々や天城の山々などが展望でき、爽快感があります。

帰りは徒歩で細野高原バス停まで写真など撮りながらススキ草原の中、4キロ程を2時間弱かけて下りて来ました。

今年も10月10日から11月9日の予定にて「稲取細野高原 秋のすすきイベント」が開催されます。温泉や食の楽しみと合わせて訪れれば、旅の楽しみは広がります。





■オギ■ 荻

- ①9月～10月
- ②水辺などの湿った場所
- ③100～250cm
- ④ススキに似るが生育場所の違いのほか、芒が無い、群生するが株立ちにならない、ススキよりふさふさとして見えるなどが見分けるポイント。



■アシ■ 葦、芦、別名:ヨシ

- ①8月～10月
- ②池や沼、川岸などの水辺や湿地
- ③150～300cm
- ④アシは「悪し」に通じて縁起がよくないのでヨシという別名がある。太くて堅い茎で作った簾を葦簾(よしず)という。葉の中央に白い筋が無い。



■パンパスグラス■ 別名:シカネヨシ

- ①8月～10月
- ②公園や植物園 (南米原産)
- ③100cm(矮性種)～300cm 以上
- ④公園などに植えられているものは高さ3mくらいになる種類もあり、日本のススキに比べて大きく、ふさふさの花穂をつける。



■チガヤ■ 千茅

- ①5月～6月
- ②山野から道端など、いたる所
- ③30～80cm
- ④初夏に目にとまる。初めて見た時の印象はミニススキかと思った。雑草として嫌悪される向きもあるが、群生して風になびく様は風情を感じる。

ススキと似た仲間

ススキと似た仲間は全てイネ科の植物です。見分けづらと思いますので、それぞれの特徴などを簡単に紹介いたします。

- ①開花期、②主に生えている場所、③草丈、④特徴



■ススキ■ 薄・芒、別名:雄花

- ①8月～10月(それ以降は枯ススキで冬の間も花穂が残っている)
- ②草原、土手、空き地など、比較的乾燥したところ
- ③100～200cm
- ④穂の小花の先端に「芒(ノギ)」とよばれる長さ0.8～1.5cmの針状の突起がある。芒の有り、無しは似たオギなど見分ける際に手がかりとなる。株立ちとなり一か所に集中して生育する。葉は固く中央に白い筋があり、縁には細かいギザギザがあり、手などを切りやすい。土壌水分量による生育環境の違い (多)アシ - オギ - ススキ(少)



■セイバンモロコシ■

- ①8月～10月
- ②空き地、河岸、道端などいたる所
- ③80～200cm
- ④地中海地方原産で戦後に帰化植物として侵入し全国に広がっている。花穂が出ていないとススキに似ている。いたる所で見かける気がする。

ススキは友だち!?

ナンバンギセル (南蛮煙管)

「ススキの根元を見よう」と書かれた看板が園内にあり行ってみると、ススキの根元から紫色をした植物が地面からよきよき出ていました。この植物はナンバンギセルといい、葉緑体を持たないため自活することが出来ず、主にイネ科の植物の根に寄生して栄養をもらって生き延びています。開花期は8月～10月頃です。名の由来は形が喫煙具のキセル(煙管)に似ていることから来ています。日本の屋外では主にススキに寄生しますが、どこでも見られるわけではありません。このような地味で変わった植物に興味があり、カメラ片手に訪れる方も結構お見かけします。



国営昭和記念公園の話題

コスモスまつり 2018
9/15(土)～
10/28(日)



レモンブライト (原っぱ東花畑)

毎年多くの方が訪れるコスモスまつりが今年も開催されます。弊社ではコスモスも含めた園内の草花管理をさせていただいており、コスモスは種蒔きに始まり、水やりや施肥、台風後の復旧など、日々育成に努めています。

コスモスは種類により開花時期が微妙に異なり、園内では見頃の違うコスモスの開花リレーが楽しめます。
9月中旬～10月上旬 レモンブライト
10月中旬～下旬 センセーション
10月下旬 イエローキャンパスなど

☆詳しい開花や見頃の時期と場所は昭和記念公園のホームページや電話等で確認して下さい。天候等により見頃の時期や見栄えの良し悪しに差が出ます。



センセーション (花の丘)

～当社では障害者、親と暮らすことが出来ない子供たちの施設(社会福祉法人)に皆様から頂いた書類の使用済み切手等を使い、支援活動をしています～